

那珂テニス部の半世紀

那珂テニス部の半世紀という本を作成しました。この本の発刊のあいさつを以下に示します。

発刊の挨拶



私が那珂テニス部の歴史を纏めようと思ったのには3つの理由があります。第一は会社をリタイアして暇になったこと。第二は、私は那珂テニス部では選手としては十分な活躍が出来ませんでしたが、幹事長や部長を経験したことから、クラブに対する思いが強いこと。第三は現在でも、那珂テニス部部員としてプレーを楽しませていただいていること、またベテランテニス愛好会や日本シニアテニス連盟などといった別のグループでも、那珂テニス部の先輩をはじめ、いわゆるテニス界の先輩たちとテニスを楽しませてもらっているのも、「テニス」に感謝するとともに、その活動記録を残しておきたいと思ったからです。

このような理由により纏めたものであるため、その内容は個人のもの(公のものではない)です。このために名称は【(私編)那珂テニス部の半世紀】としました。その内容は、自分の近くに残っていた写真や資料に加えて那珂工場新聞「那珂」縮刷版の中から、テニス部に関する記事を抽出して並べ替えました。また1964年に発刊された、那珂テニス部として最初で最後のクラブ誌「那珂テニス1964」を佐藤賢二さんから紹介していただきこれを全部載せました。佐々木さんからは昭和41、42年辺りの幹事ファイルを紹介してもらいました。これらは皆クラブ創設時代の状況が大変良く判る貴重な資料でした。また手元にあったビデオもDVDに変換して巻末にのせました。

2009年の暮れに、仮製本を那珂テニス部の先輩に回覧し、内容のチェックと更なる資料があればとお願いしたところ、多くの情報を頂き、これ等を追加しました。これら資料の詳細は別項(資料の説明)にて説明してあります。

会社の日立会に対する考えや個人のテニスに対する考えは時代、年齢などによって変わってきますが、私がいつも思うことは「テニスをやってきて本当に良かった」と言うことです。そのひとつは、「ストレスの時代」を乗り切れたということです。もし、テニスがなかったらと思うと恐ろしくなるくらいです。第2は友達や目標などに、リタイア後も継続して、恵まれていることです。設計者はその仕事为目标であり生き甲斐であることが多く、リタイアとともにそれを失くして、地域デビューなどに苦しむ方もいます。第3は体自体(身体的)のことです。運動が健康によいことは、今では、誰でも知っていますが、楽しく時間を過ごして健康が維持できることは幸せです。究極は自分の膀胱癌の早期発見です。激しいテニスの運動による血尿が、これを早期に知らせてくれました。先生も良かった!とってくださいました。テニスはいつも私の免疫機能を向上させる方向に働いてくれたと思い、感謝の気持ちで一杯です。

以上記しましたように、感謝の気持ちを込めて、資料を纏めました。これが、誰かの、少しでも、お役に立てば幸いです。

2010年7月7日 ひたちなか市中根4898-4

廣瀬 博



作成した「(私編)那珂テニス部の半世紀」

2011年9月 UP